

大分県医労組連 第60回定期大会開催！！ ニュー入の今を「んんん」のそいでみませんか？



9月16日(日)
別府亀の井ホテルにて開催されました。組織10単組のうち9単

組、代議員24名で大会は成立し、総勢51名の参加で今年度の総括、そして来年度に向けて日本医労連の運動方針強化について討議されました。本部からは米沢哲中央執行委員が見え情勢を踏まえたうえでの運動方針の説明がされました。

今年度は、大分県医労連にとっても厳しい情勢です。役員世代交代の中、組織数の減少、特に県北地域での減少が加速している状況です。

それでも少しずつ学習会を開催して、元気の出る運動をと奮闘している姿が見えてきています。開会のあいさつでもありましたが、日野智子委員長は「組織増勢に向けて一人一人が声を掛け合い、仲間を作り学習に努めていこう。」これに対して、討論の中で「具体的にはどのように運動を進めていくのか示してほしい。そうすれば私たちもその道筋に沿って頑張れる。」との発言もありました。執行部からは「執行委員会でしっかり討議を深め、具体的な学習会の計画を立て運動を引っ張って行くべき努力してきたい。」との力強い答弁が聞かれました。組合とは、一人一人の人を大事に寄り添っていく仲間の集まりです。たとえ組合員数が落ち込んだとしても、そこに組合があるのとないのでは雲泥の差です。組合がなければ、声を上げることもできず、仲間が一人もいない職場ではただうつむいて我慢することしかできないかもしれぬ。一人でも仲間がいて話し合うことができれば、すぐに職場の状況が変わらなくてもうつむかずに前を向いて頑張ることができるのです。来年度の奮闘を期待し、団結して頑張ろう!!



さて、安倍晋三氏が自民党総裁選3期目突入！盤石な足固め！などと各新聞の一面をにぎわしていますが、本当にそうなのでしょうか？

対立候補の石破茂氏とは、議員票で329：73 党員票で224：181 合計で553：254 と大差のように見えますが、実際はどうなのでしょう？

自民党の中のことですから、お二人の考え方には大差ないのかもしれませんが、今の安倍一強の中で考えれば、結構の反対票があったのだということが見えてくるように思えます。書類の改ざん、嘘と隠ぺい、憲法改正の前のめり発言どれをとっても謙虚に説明された中身はありません。そんな中で、「国民には誠実に説明をし、議論を深める」と言った石破氏の発言が、少なくとも自民党の中でも3割以上の支持を集めているということは・・・。国民は、声を上げることをあきらめるのではなく、声を上げ自らが住みよい日本社会を作っていくために何ができるのかを考えるターニングポイントの時期に来ているのでは?! オール沖縄の心を忘れてはいけません。

<http://oita-irouren.net/>

労働組合とはなんぞや？

労働組合は、人間らしく生き働くために、どうしても恒常的な団結組織として必要なのです。

性別、年齢、国籍、思想・信条、宗教、さらには支持政党の如何にかかわらず、労働者ならだれでもはいる組織です。大衆組織です。共通の要求に基づいて恒常的に団結する組織が、労働組合です。そして、労働者だけで構成する組織であり、共通した要求に基づき団結し、その要求実現を阻むとする資本家とは断固としてたたかう組織です。

役割としては、
① 経済要求をたたかう
個々の資本家や資本家団体を相手に賃金・雇用・労働時間その他の労働条件維持・改善を目指してたたかう闘争

② 政治的な要求をたたかう
政治要求を実現するうえで政治と協力・共同してたたかうことが重要。要求実現のためにも、要求や政策で一致する政党と協力し合ってたたかいて進めることが大切。

By Mima